

《研究課題名》

ヒト初期胚を用いた霊長類初期発生機構の解明

《研究対象者》

2024年6月より2026年4月までに滋賀医科大学附属病院母子女性診療科において、上記研究課題にご参加いただき、不妊治療(生殖補助医療)のために使用する目的で体外受精や顕微授精を行い作成した受精胚で、当該(治療)目的で使用することがなくなった受精胚をご提供いただいた方。

研究協力をお願い

「ヒト初期胚を用いた霊長類初期発生機構の解明」の研究にご協力いただいた方に対し、ご提供いただいた試料を追加の研究に用いること、につきましてこのお知らせを持って説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(3)の問い合わせ先へご連絡ください。

《利用し、又は提供する試料・情報の追加項目》

発生過程において、細胞分化に関与する遺伝子座から優先的にDNA複製が始まることが示唆されているため、ヒト受精卵の個々の細胞において、ゲノムDNA(遺伝情報の設計図)の配列情報を次世代シーケンサーによって決定します。その際、ゲノム配列を特定することはなく、個人の病気などを特定することはありません。また、細胞の運命決定にゲノム変異(欠失、点変異、など)の蓄積やDNAのメチル化やその他のDNAの修飾状態(エピジェネティック修飾と呼ばれています)が関わっている可能性が想定されているため、エピジェネティック情報も解析します。その際に得られたゲノム配列から個人の病気の特定に繋げることはありません。

(1) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(3)の問い合わせ先へご連絡ください。

(2) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(3)にご連絡ください。

(3) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 産科学婦人科学講座 辻 俊一郎

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2267

メールアドレス：hqgyne@belle.shiga-med.ac.jp